

# 食道癌における静止期癌幹細胞マーカーの探索とその発現に基づく治療効果予測



大学院医学系学術研究部(医学)  
講師 奥村 知之

研究分野

Research area

消化器外科学 幹細胞生物学

研究のキーワード 食道癌, 癌幹細胞, CTC

研究内容

Research content

自己複製能をもつ腫瘍幹細胞のなかで細胞周期が静止期にある少数細胞は転移や再発、治療抵抗性に関与する重要な細胞フラクションと考えられているものの、食道癌をはじめ固形癌における静止期癌幹細胞同定は進んでいない。食道扁平上皮癌における静止期癌幹細胞を分離し、特異的細胞表面マーカーおよび診断・治療標的分子を探索する。

研究のポイント

Research point

食道扁平上皮癌における静止期癌幹細胞を分離し、特異的細胞表面マーカーおよび診断・治療標的分子を探索する。

- ① CD271 High/GOG1 を用いた静止期癌幹細胞分離法を確立する。
- ② 静止期幹細胞マーカーとして細胞表面に発現する分子を探索し、特異的抗体を作成する。
- ③ 探索したマーカー分子または作成した抗体を用いた CTC 検出による治療効果予測に関する臨床研究を開始する。

産学連携への取組、期待

これまでに、分離した静止期癌幹細胞特異的発現分子を複数検出しており、診断・治療標的分子としての有用性を解析中である。  
また、特異的細胞表面マーカーを用いた CTC 検出を進めている。

出願番号: 特願 2017-028150

出願日: 平成 29 年 2 月 17 日

発明の名称: 静止期癌幹細胞の効率的分離方法  
富大整理番号: H28-S11

## 研究 REPORT

